

# 有言実行



## いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ



いきいき茨城ゆめ国体マスコット「いばらッキー」  
(茨城国体承認第1-196号)

### 和歌山県、悲願の男女総合優勝果たす

「今回は総合優勝をしに来たので」2人チーム戦の決勝戦を前に、安里秀策選手は一言。このとき和歌山は、首位を40ポイント差で追う立場でした。ゆるぎない自信とか、決意というような固さとは無縁の口ぶりは、仲間への信頼がベースにあったからでしょう。出場したメンバー全員が表彰台に立ち、全員の力で優勝を勝ち取ったチーム和歌山でした。

- 2～5面 理事会レポート、いきいき茨城ゆめ国体
- 6面 第10回東日本・西日本シニア選手権大会
- 7～8面 第52回全日本新人選手権大会、ナショナルチーム通信



## 文部科学大臣杯

### 第26回 全国高等学校対抗ボウリング選手権大会

2019年12月20日(金)～22日(日)  
川崎グランドボウル

〒210-0012 神奈川県川崎市川崎区宮前町11-14 TEL 044-244-2281

- 主催 公益財団法人全日本ボウリング協会 公益財団法人川崎市スポーツ協会
- 共催 川崎市 川崎市教育委員会
- 後援 スポーツ庁 公益財団法人全国高等学校体育連盟  
公益財団法人神奈川県体育協会 神奈川県高等学校体育連盟  
川崎地区高等学校体育連盟 神奈川新聞社 tvk(テレビ神奈川)
- 協力 日本ボウリング機構(JBO) 公益社団法人日本ボウリング場協会  
川崎グランドボウル 読売新聞川崎読売会 川崎ホテルパーク  
パールホテル川崎 ホテルスカイコート川崎 川崎セントラルホテル
- 協賛 川崎アゼリア株式会社
- 主管 神奈川県ボウリング連盟







成年男子団体戦(4人) 熊本



成年男子団体戦(2人) 和歌山



少年男子団体戦 北海道



成年女子団体戦(4人) 神奈川



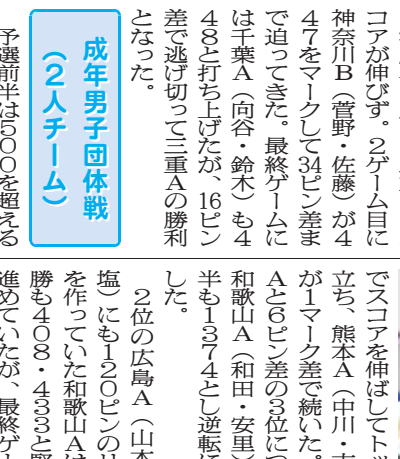
成年女子団体戦(2人) 三重



少年女子団体戦 愛知



団体戦(2人)で故郷三重の優勝に貢献した熊本の佐藤



予選では50点を超えるゲームが連続する中、中野(伊吹・千恵)が14377マ



三重大谷原・入江が466・470と好スコアを連発して連覇。それを北海道(藤・清野)が141



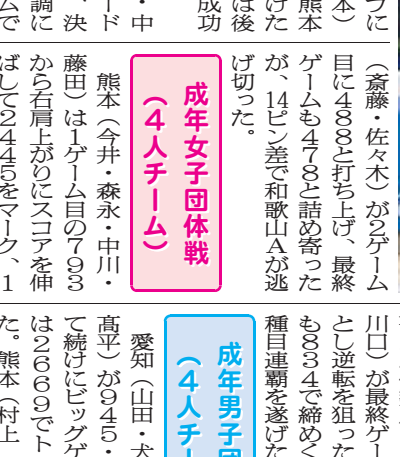
少年男子団体戦入賞者



少年女子団体戦入賞者



団体戦(4人)ベテランの力量結集した熊本の中川



2位の広島A(山本・中塩)にも100%のリードを作った和歌山は、決勝で08・430と堅調に進んでいたが、最終ゲームでまののスコア8位で通過し前回優勝者の神奈川A



位置を決めた。4位まで25ピン差という接戦決勝戦に突入した。熊本は1ゲーム目から大きくマシして優勝から遠ざかろうとした。最終スコアは熊本の45ピン差で逆転した。熊本は08・430と堅調に進んでいたが、最終ゲームでまののスコア8位で通過し前回優勝者の神奈川A



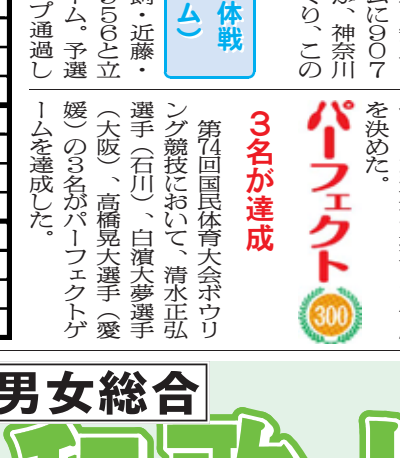
成年男子団体戦(4人)入賞者



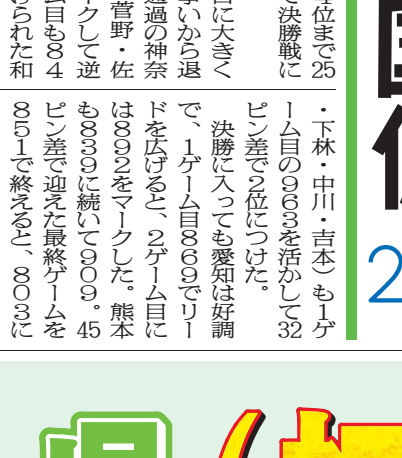
成年女子団体戦(4人)入賞者



3名が達成



第74回国民体育大会ホウリング競技会



下林・中川・吉本も1ゲーム目から大きくマシして優勝から遠ざかろうとした。最終スコアは熊本の45ピン差で逆転した。熊本は08・430と堅調に進んでいたが、最終ゲームでまののスコア8位で通過し前回優勝者の神奈川A



成年男子団体戦(2人)入賞者



成年女子団体戦(4人)入賞者



男女総合優勝の和歌山県



女子総合優勝の神奈川県



男女総合優勝の和歌山県



少年男子個人戦入賞者



少年女子個人戦入賞者



男女総合入賞団体



女子総合入賞団体



女子総合優勝の神奈川県



成年男子個人戦入賞者



成年女子個人戦入賞者



女子総合入賞団体



女子総合優勝の神奈川県



女子総合優勝の神奈川県

# いきいき茨城ゆめ国体 2019

## 最終種目で 逆転！ 和歌山県(初) 女子総合 神奈川県V2

**男女総合**  
和歌山県(初)  
**女子総合**  
神奈川県V2

首位に立ったのは男子位を45ピン差で逆転して優勝した和歌山県。女子総合は神奈川県が4人チームで逆転して優勝した。和歌山県は神奈川県に劣る4人チームで、神奈川県は女子のみが決勝に進出した。和歌山県は男子位を逆転して優勝した。和歌山県は神奈川県に劣る4人チームで、神奈川県は女子のみが決勝に進出した。和歌山県は男子位を逆転して優勝した。和歌山県は神奈川県に劣る4人チームで、神奈川県は女子のみが決勝に進出した。

**女子総合**  
このとき昨年女子総合優勝の神奈川はポイント差で5位、4人チームには3位通過した。和歌山は逆転して優勝した。神奈川はポイント差で5位、4人チームには3位通過した。和歌山は逆転して優勝した。神奈川はポイント差で5位、4人チームには3位通過した。

**男子総合**  
首位に立ったのは男子位を45ピン差で逆転して優勝した和歌山県。女子総合は神奈川県が4人チームで逆転して優勝した。和歌山県は神奈川県に劣る4人チームで、神奈川県は女子のみが決勝に進出した。和歌山県は男子位を逆転して優勝した。和歌山県は神奈川県に劣る4人チームで、神奈川県は女子のみが決勝に進出した。

清水正弘	パーフェクト	石川県	46歳
使用ボール	Choice Solid(16p)		
公認ドライバー	峯越慎嗣 (公認No. 1156-19)		
白濱大夢	パーフェクト	大阪府	23歳
使用ボール	Helo Pearl(15p2oz)		
公認ドライバー	武本真明 (公認No. 1539-27)		
高橋晃大	パーフェクト	愛媛県	20歳
使用ボール	Assassin Sword(16p)		
公認ドライバー	渡部幸星 (公認No. 1184-38)		

**成年男子団体戦 (4人チーム)**  
熊本(山本・森永・中川・高野)が450・430と立派なスコアをマークして、予選では08・430と堅調に進んでいたが、最終ゲームでまののスコア8位で通過し前回優勝者の神奈川A(伊吹・千恵)が14377マ

**成年女子団体戦 (2人チーム)**  
予選では50点を超えるゲームが連続する中、中野(伊吹・千恵)が14377マ

**成年男子団体戦 (2人チーム)**  
予選では50点を超えるゲームが連続する中、中野(伊吹・千恵)が14377マ

# 西日本 播本&浜辺 連覇達成

# 東日本 柳川、真のアベックV

## 第10回 東日本・西日本シニア選手権大会



1 2 西日本 3 男子シニアの部



東日本 男子シニアの部



1 2 西日本 3 女子シニアの部



東日本 女子シニアの部



1 2 西日本 男子グランドシニアの部



東日本 男子グランドシニアの部



1 2 西日本 女子グランドシニアの部



東日本 女子グランドシニアの部

第10回東日本ニア選手権大会が10月19日(土)・20日(日)に北海道・総合レジャーセンターポウル(公競No.101・080)で、第10回西日本ニア選手権大会は10月18日(金)から20日(日)に長崎・諫早パークレーン(公競No.142・029)で開催された。東西合計336名のシニアボウラーが年代・男女別の個人戦で腕を競った。

東日本では柳川弘行・穂波夫妻(三重)がシニア部門で同時優勝、穂波選手(大会新記録も達成の快挙となった。)

西日本は4部門すべて大会記録を塗り替え、男子グランドシニアの播本雄輔(京都)と女子グランドシニアの浜辺津那子(島根)が連覇を果たした。

**競技**

**西日本シニア**

**男子シニア**

辻貴司(長崎)は1回戦で727、2回戦ではハンディキャップを含めて304の高スコア

をマークして701。6ゲームを終えてトップに立ったが、2位の戸田啓二(広島)とは42ピン差。

3回戦、プラスに乗せられなかった戸田に対し、辻は645にまとめた。2位に浮上した吉本隆夫(熊本)は83ピン差をつけたが、決勝戦で695をマークして猛追。しかし辻は619で、7ピン差の逃げ切り優勝を決めた。

1回戦で639をマークした澤田典子(滋賀)が、2回戦も614と堅調で首位ターンした。谷口久美子(福岡)も1回戦608、2回戦613と安定のスコアメイク、澤田に32ピン差を続けた。

3回戦は澤田が602、谷口が608で差は動かず。決勝戦、2ゲーム目に257と打ち上げた谷口が一気に逆転で優勝を決めた。

**女子シニア**

昨年優勝者の播本雄輔(京都)が1回戦700で首位発進も2回戦は振るわず4位に後退。1回戦3位の西森安正(愛媛)が1235までスコアを伸ばしてトップに立った。

3回戦では播本が再び675と打ち上げて首位に戻った。2位の吉田実(広島)とは29ピン差の接戦で決勝戦に入ると、播本は最終ゲームに251で突き放して連覇を果たした。

**男子グランドシニア**

東日本優勝者の播本雄輔(京都)が1回戦700で首位発進も2回戦は振るわず4位に後退。1回戦3位の西森安正(愛媛)が1235までスコアを伸ばしてトップに立った。

3回戦では播本が再び675と打ち上げて首位に戻った。2位の吉田実(広島)とは29ピン差の接戦で決勝戦に入ると、播本は最終ゲームに251で突き放して連覇を果たした。

**女子グランドシニア**

福原秀子(京都)が610の好スタートを切り、西熊嘉子(福岡)が14ピン差を続けた。2回戦では馬場初美(大分)が692、601とした西熊を44ピン上回った。

3回戦は馬場が584とし、西熊との差を93ピンまで広げたが、決勝に入るとスコアを落としてしまう。

4位で通過した浜辺津那子(島根)は2ゲーム目に263をマーク。それでも61ピンの差があったが、最終ゲームでも250を打って逆転し、昨年に続く優勝を遂げた。

**ガイド**

東日本・西日本シニア選手権大会は昨年度から個人戦のみを行う大会にリニューアルされた。50・64歳の男子シニア・女子シニアと、65歳以上

の男子グランドシニア・女子グランドシニアの4部門に分かれて競技を行う。

全部門、予選9ゲームの後、上位者による決勝3ゲームを行い、12ゲームの総得点で順位を決定する。

**男子グランドシニア**

高橋賢一(神奈川)が1回戦146の好スタートを切ると、2回戦も614、31ピンのリードで折り返した。しかし3回戦は535とスコアを落とし、寺口エミ子(北海道)が566にまとめてトップを奪い、久慈は33ピン差。3位の中村邦子(石川)も久慈と33ピン差をつけて決勝戦を迎えた。

1ゲーム目に久慈は210で再逆転した。中村も206で追ったが、2ゲーム目でスコアを落としてしまう。最終ゲームで190をマークした久慈が優勝を果たした。

**女子シニア**

1回戦は643でトップの増山満枝(栃木)を沖崎美和(北海道)と柳川穂波(三重)が1マーク差で追った。その集団から2回戦、603と打ち上げた柳川が抜け出した。2位に留まった沖崎は45ピン差をつける。柳川は3回戦で671。リードは139ピンまで一気に広がった。

決勝戦も危ない試合運びの柳川。626にまとめる大会記録を71ピン上回って優勝となった。

**男子シニア**

本戸則幸(北海道)が692で1回戦トップ。2回戦は3マーク差で追っていた丸子憲治(北海道)が699と打ち上げて逆転した。280を打つなど好調の柳川弘行(三重)は、3回戦の730で一気にトップへ上り詰めた。

2位の松原聡(東京)に70ピン差をつけた柳川は、決勝戦では613に留まるもリードを活かして逃げ切った。

**女子グランドシニア**

久慈順子(岩手)が1回戦646の好スタートを切ると、2回戦も614、31ピンのリードで折り返した。しかし3回戦は535とスコアを落とし、寺口エミ子(北海道)が566にまとめてトップを奪い、久慈は33ピン差。3位の中村邦子(石川)も久慈と33ピン差をつけて決勝戦を迎えた。

1ゲーム目に久慈は210で再逆転した。中村も206で追ったが、2ゲーム目でスコアを落としてしまう。最終ゲームで190をマークした久慈が優勝を果たした。

# 少年は15歳、成年は実力者が優勝

## 第52回全日本新人選手権大会

### 開会式

10月25日(金)、15時の開会式開始に先立ち、台風による甚大な被害を受けにくなられた方々に哀悼し、黙祷がささげられた。



言葉が贈られた。競技規程説明・認証報告と審判団の紹介に続き、長野県代表の原山選手が力強く選手宣誓し、開会式を滞りなく終了した。

### 成年男子の部

1回戦で700UPは柴山(学連)のみ。723と2位の羽ヶ崎匠海(学連)と41ピン差でスタートした。130ピン差の21位と出遅れていた川崎未来(学連)は、2回戦で257・254・249と圧巻のスコアメイクで3位に浮上してきた。川下祐生(学連)が19ピン差、柴山は35ピン差で続いた。3回戦、671の川崎は202までスコアを伸ばしたが、川下も58ピン差でくわいて決勝戦に突入する。川崎は2ゲーム目の259で突き放した。決勝もシリーズ605の川崎は、終わってみれば196ピン差をつけての圧勝となった。

### 少年女子の部

金子萌夏(群馬)が1回戦638で好発進。2位の坂野ニイナ(茨城)は37ピン差をつけたが、2回戦も593と首位を奪った。戸塚知菜(愛知)も590台のシリーズを続けて、坂野と7ピン差に迫ってきた。戸塚は11ピン差の3位に後退した金子だったが、3回戦では705と打ち上げに成功。再びトップに立つと、2位に浮上してきた幸木百合菜(福岡)に95ピンのリードを作った。

決勝1ゲーム目は金子も幸木も533。続く2ゲームで幸木は241・237とたみかけたが、金子も212・189とスコアをまとめた。18ピン差で金子が逃げ切り優勝を果した。

1回戦で700UPは柴山(学連)のみ。723と2位の羽ヶ崎匠海(学連)と41ピン差でスタートした。130ピン差の21位と出遅れていた川崎未来(学連)は、2回戦で257・254・249と圧巻のスコアメイクで3位に浮上してきた。川下祐生(学連)が19ピン差、柴山は35ピン差で続いた。3回戦、671の川崎は202までスコアを伸ばしたが、川下も58ピン差でくわいて決勝戦に突入する。川崎は2ゲーム目の259で突き放した。決勝もシリーズ605の川崎は、終わってみれば196ピン差をつけての圧勝となった。

1回戦で村田百恵(愛知)が唯一の600UP。638で2位の新屋京子(沖縄)に59ピン差をつけた。2回戦で村田は579、新屋は587と差はほぼ変わらず。そして3回戦も2名とも560台。村田の48ピンリードで決勝戦を迎えた。池田智美(茨城)は1回戦こそ出遅れたものの、2・3回戦では600UPを決めて3位に浮上してきた。村田とは60ピン差がついていたが、

35ピン差で続いた。3回戦、671の川崎は202までスコアを伸ばしたが、川下も58ピン差でくわいて決勝戦に突入する。川崎は2ゲーム目の259で突き放した。決勝もシリーズ605の川崎は、終わってみれば196ピン差をつけての圧勝となった。



少年女子の部入賞者



成年男子の部入賞者



成年女子の部入賞者

### ガイド

全日本新人選手権大会は少年男子・女子、成年男子・女子の4部門に分かれて個人戦を行う。

【出場資格】  
▽成年男子・女子 協会入会から3年以内(第52回大会は2017、2019年度入会)の者。ただし、国民体育大会を含む協会主催大会において個人種目で優勝経験のある者と、今年度の全日本シニョナルチーム・ユース・ユースシニョナルチームメンバーは参加できない。

【競技方法】  
4部門とも、予選9ゲーム、決勝3ゲームを投球し、合計12ゲームのトータルピンで順位を決定。決勝には成年男子24名、成年女子12名、少年男子24名、少年女子12名が進出できる。

<b>田口智博</b>	少年男子の部	愛知県	15歳
使用ボール	The One Deep Danger(15p)		
公認ドライバー	吉田文啓 (公認No. B0556-22)		
<b>金子萌夏</b>	少年女子の部	群馬県	15歳
使用ボール	Code X(15p3oz)		
公認ドライバー	佐藤貴啓 (公認No. 1926-10)		
<b>川崎未来</b>	成年男子の部	学生連合	19歳
使用ボール	Code Black Limited(15p3oz)		
公認ドライバー	敷本 卓 (公認No. 1122-30)		
<b>池田智美</b>	成年女子の部	茨城県	26歳
使用ボール	Nanodesu Accu-Line Tour Premium II(15p)		
公認ドライバー	川島賢治 (公認No. 1834-08)		



### 第52回全日本新人ボウリング選手権大会 成績表

2019年10月25日(金)~27日(日)  
参加: 259名 会場: 長野・ヤングファラオ

《少年男子の部》 12G	91名	《少年女子の部》 12G	42名
優勝 田口智博(愛知)	2,564	優勝 金子萌夏(群馬)	2,515
準優勝 木村 晃(神奈川)	2,500	準優勝 幸木百合菜(福岡)	2,497
第3位 外村浩樹(鹿児島)	2,494	第3位 石田玲奈(群馬)	2,338
第4位 水野 雄大(大阪)	2,459	第4位 坂野ニイナ(茨城)	2,315
第5位 橋内誠吾(東京)	2,452	第5位 戸塚知菜(愛知)	2,272
第6位 松尾将希(愛知)	2,446	第6位 須藤真海(千葉)	2,252
Hゲーム 木村 晃(神奈川)	277	Hゲーム 金子萌夏(群馬)	278
Hゲーム 村瀬大河(岐阜)	277	Hゲーム 金子萌夏(群馬)	705
Hゲーム 外村浩樹(鹿児島)	723		
《成年男子の部》 12G	102名	《成年女子の部》 12G	24名
優勝 川崎未来(学生連合)	2,717	優勝 池田智美(茨城)	2,345
準優勝 川下祐生(学生連合)	2,521	準優勝 村田百恵(愛知)	2,276
第3位 山下琢朗(学生連合)	2,496	第3位 新屋京子(沖縄)	2,272
第4位 福田凌大(茨城)	2,481	第4位 渡邊 望(新潟)	2,282
第5位 山本青空(学生連合)	2,460	第5位 山下佳世子(東京)	2,217
第6位 東海 純(学生連合)	2,448	第6位 坪井美樹(学生連合)	2,189
Hゲーム 櫻井昇(栃木)	281	Hゲーム 村田百恵(愛知)	257
Hゲーム 川崎未来(学生連合)	760	Hゲーム 村田百恵(愛知)	638

### 第10回東日本シニアボウリング選手権大会 成績表

2019年10月19日(土)~20日(日)  
参加: 167名 会場: 北海道・総合レジャーサンコーボウル

《男子シニアの部》 12G	71名	《女子シニアの部》 12G	26名
優勝 柳川 弘行(三重)	2,680	優勝 柳川 穂波(三重)	*2,592
準優勝 松原 聡(東京)	2,623	準優勝 沖崎美和(北海道)	2,419
第3位 石田 隆(東京)	2,600	第3位 吉田由美子(埼玉)	2,326
第4位 東 秀雄(石川)	2,562	第4位 増山満枝(栃木)	2,316
第5位 丸子 憲治(北海道)	2,557	第5位 本間夕妃江(北海道)	2,290
第6位 菅野 紀夫(神奈川)	2,556	第6位 森井 裕子(愛知)	2,247
Hゲーム 吉田 豊(愛知)	290	Hゲーム 沖崎美和(北海道)	248
Hゲーム 柳川 弘行(三重)	715	Hゲーム 柳川 穂波(三重)	656
《男子グランドシニアの部》 12G	48名	《女子グランドシニアの部》 12G	22名
優勝 黒畑 幸作(北海道)	2,566	優勝 久慈 順子(岩手)	2,396
準優勝 遠藤 邦夫(福島)	2,553	準優勝 中村 邦子(石川)	2,344
第3位 稲田 武史(北海道)	2,526	第3位 大丸 智子(石川)	2,293
第4位 上山 正(栃木)	2,521	第4位 濱元 小夜子(愛知)	2,285
第5位 澁川 保則(北海道)	2,499	第5位 井川 静江(北海道)	2,256
第6位 土田 孝一(神奈川)	2,492	第6位 寺口 エミ子(北海道)	2,214
Hゲーム 土田 孝一(神奈川)	258	Hゲーム 濱元 小夜子(愛知)	245
Hゲーム 大井川 国雄(北海道)	705	Hゲーム 久慈 順子(岩手)	631

### 第10回西日本シニアボウリング選手権大会 成績表

2019年10月18日(金)~20日(日)  
参加: 169名 会場: 長崎・諫早パークレーン

《男子シニアの部》 12G	51名	《女子シニアの部》 12G	40名
優勝 辻 貴司(長崎)	*2,692	優勝 谷口 久美子(福岡)	*2,437
準優勝 吉本 隆夫(熊本)	*2,685	準優勝 澤田 典子(滋賀)	*2,384
第3位 西納 光治(長崎)	*2,638	第3位 高見 ひとみ(広島)	2,300
第4位 服部 良成(長崎)	*2,626	第4位 栗田 旬子(愛媛)	2,234
第5位 石井 浩次(広島)	2,594	第5位 藤田 千代美(熊本)	2,224
第6位 山川 誠(福岡)	2,583	第6位 北山 明美(京都)	2,222
Hゲーム 辻 貴司(長崎)	299	Hゲーム 谷口 久美子(福岡)	258
Hゲーム 辻 貴司(長崎)	712	Hゲーム 栗田 旬子(愛媛)	637
《男子グランドシニアの部》 12G	47名	《女子グランドシニアの部》 12G	31名
優勝 播本 雄輔(京都)	*2,589	優勝 浜辺 津那子(島根)	*2,359
準優勝 南里 一政(長崎)	2,500	準優勝 馬場 初美(大分)	*2,332
第3位 吉田 実(広島)	2,453	第3位 中川 みち子(滋賀)	2,290
第4位 神下 克己(徳島)	2,436	第4位 西熊 嘉子(福岡)	2,254
第5位 菊川 隆行(長崎)	2,427	第5位 大城 弘子(沖縄)	2,195
第6位 西森 安正(愛媛)	2,377	第6位 久保 富貴恵(愛媛)	2,187
Hゲーム 播本 雄輔(京都)	255	Hゲーム 馬場 初美(大分)	256
Hゲーム 播本 雄輔(京都)	685	Hゲーム 馬場 初美(大分)	692



# アジア選手権

We are Team **JAPAN**  
ナショナルチーム通信

## 安里秀策が銅メダル×2

第25回アジア選手権大会が10月21日(月)から30日(水)にかけてクウェートで開催されました。日本は今回、男子チームが出場。6名の精鋭で大会に臨みました。

安里秀策選手(和歌山・日高東宝ボウル)がシングルス戦で3位。マスターズ戦でも激闘の末に3位となり、個人種目で2つの銅メダルを獲得し、実力を示しました。  
【詳細は次号】



# 初タイトルGET 金子・田口・池田・川崎

## 第52回全日本新人選手権大会

第52回全日本新人選手権大会が10月25日(金)から27日(日)にかけて、長野・ヤングファラオ(公競No.17・016)で開催された。少年・成年それぞれの世代で全国優勝経験のない新人選手が、悲願のタイトル獲得をかけて熱戦を繰り広げた。

少年男子は田口千博(愛知)、少年女子は金子萌夏(群馬)、ともに15歳の選手が栄冠に輝いた。成年男子はNHK杯で入賞経験のある川崎未来(学連)が、成年女子は茨城国体で団体戦3位に貢献したばかりの池田智美(茨城)が、実力を再証明する優勝を遂げた。

### 少年男子の部

予選1回戦で外村浩樹(鹿児島)が723をマークしてトップに立った。2位の執行洗見(長崎)は41ピン差。しかし3名とも2回戦は振るわず、4位につけていた田口智博(愛知)が664とし逆転した。大笹裕豊(愛知)も2ピン差で続いた。

3回戦で大笹はスコアを落としながらも、田口は596にまとめて首位を守った。2位の座波政斗(沖縄)と外村が4マーク差をつけて迎えた決勝戦。1ゲーム目、外村が246を打つも田口は232で逆転を許さず。ラスト2ゲームも200UPにまとめた田口が優勝を決めた。  
【7面へつづく】



少年男子の部入賞者

### 令和元年度富士市表彰式典



メダルラッシュに好評価の鈴木(前列右)

### 富士市教育文化スポーツ奨励賞

全日本ユースナショナルチームメンバーの鈴木波流選手(静岡・県立富岳館高校)が、富士市教育文化スポーツ奨励賞を受賞しました。7月に開催された第20回アジアスケール選手権大会で、日本代表として金1・銅3のメダル獲得という好成績が評価されました。表彰式は11月1日(金)に富士市文化会館で行われました。



B3個人総合戦入賞者



B2個人総合戦入賞者

【各種目優勝成績】  
▽個人戦(トーナメント)  
B1 森寛樹(東京都)  
B2 小林和明(福岡県)  
B3 三吉典之(福岡市)  
▽ダブルス戦(2人×6G)  
I組(B1選手を含む) 高木綾子(東京都・清杉政敏(札幌市)1787  
II組(B2ダブルス) 高木忍(東京都・戸川和夫(東京都)1934  
▽個人総合戦(12G)  
B1 高木綾子(東京都)1553  
B2 森透(奈良県)2084  
B3 尾崎登志夫(福岡県)2066

### 第18回全日本視覚障害者選手権大会を開催



B1個人総合戦入賞者

第18回全日本視覚障害者選手権大会が9月28日(土)・29日(日)に東京・東京スポーツボウル(公競No.133・027)で開催されました。北海道から沖縄まで、国内の広範囲から選手が集まり、韓国の選手も競技を行いました。

全盲でアイマスクを着用して競技するB1クラスのハイゲームは173に達し、B2では214、B3では212と、精度の高いパフォーマンスが披露されました。

含む39名が参加。障害の度合いにより3クラスに分かれて競技を行いました。

## 第52回全日本実業団ボウリング選手権大会

2019.11.22(金)▶24(日)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会  
後援 東大和市 公益財団法人 東京都体育協会  
協力 日本ボウリング機構(JBO)  
主管 全日本実業団ボウリング連合 東京都ボウリング連盟

### 東大和グランドボウル

〒207-0022 東京都東大和市桜が丘1-1330-19  
TEL 042-516-1556

## 文部科学大臣杯 第57回全日本大学ボウリング選手権大会

2019.11.16(土)▶18(日)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会  
後援 スポーツ庁  
協力 日本ボウリング機構(JBO)  
主管 全日本学生ボウリング連合 関西学生ボウリング連盟

### キョーイチボウル宇治

〒611-0042 京都府宇治市小倉町神楽田55番地1 TEL 0774-22-5524  
<http://www.matsubara-kosan.co.jp/hall/bw101.html>